

Honjo Rotary Club weekly report

Rotary International District 2570 Group 4



No.54-19 第2593回 例会2016年12月1日 (木)
クラブ協議会

会長 中島高夫

会長エレクト 渋澤健司

副会長 巴 高志

野田貞之

飯塚明男

幹事 坂本雄一

2016 ~ 17年度国際ロータリー会長 ジョン・ジャーム

第2570地区ガバナー 前嶋修身

進行: SAA 坂本優蔵 チーフ

点鐘: 12:30 中島高夫 会長

国歌: 君が代

ソング: 奉仕の理想

会長の時間

皆さんこんにちは 12月の第一例会に何かとご多用の中ようこそ出席を頂き大変ありがとうございます。久しぶりに壇上に上がり緊張しています。というのも11月は一度も例会場での例会が行われなかったからです。3日が祭日の為休会、そして地区大会、都市連合会と続いて最後の週は夜間例会でした。今までにない変則な1ヵ月となりました。又先日には雪が降りました。11月に雪が降るのは54年ぶりだそうです。お陰で第2回ゴルフコンペが延期となりました。

最近各地で自然災害が頻繁に起きております。人は自然災害とどう向き合うか、それは、人は自然災害からどう身を守れるかということなのです。人は自然から数々の恩恵を受けているが、恩恵を知ると同時に、自然の脅威に目を向け、自然と人間がいかに、共存、共栄していく事だそうです。私たちが住んでいる日本列島には素晴らしい自然の姿を四季折々見せてくれます。日本人は自然の恵みを受けた生活を通じ、優れた産業技術、そして日本特有の文化、芸術を生み出してきました。時には厳しい自然の力が私たちの生活に襲い掛かり、日本各地で色々な自然災害が起きました。その一つが土砂災害です、土砂災害についての要因は大体三つくらいに区分ができるそうです。一つは集中豪雨、二つ目は地質、地形に関係したこと。2014年8月に大雨で大災害を受けた広島市周辺には花崗岩が広く分布しているが、かなり風化が進んでいて、もろくなりぼろぼろになった地質が災害を導いてしまったと言われています。三つ目は自然を無視した宅地開発。元は埋め立て地であったり、軟弱地盤であったり新しく開拓した土地であったりそこに大きな団地ができ多くの人が住むようになったからだそうです。

次に被災地について調べてみると、五つほどの問題点が指摘されます。まず一つ目は土砂災害警戒区域の指定。危険ということで土砂災害の警戒区域を決めるのですが、指定するには地元の同意が必要です。二つ目は土砂災害警戒情報。一般的にはその地域に過去にどの程度の土石流があったか、という頻度を基にして決めます。三つ目は土石流の発生予測を、雨量計の数値によって、決めているしかし上流地域で局地的な雨が降った場合、下流に水は押し寄せますが、下流にある雨量計は雨とし

中島高夫 会長



てカウントしません。四つ目は避難場所が本当に安全なのか、避難場所というのは大体地域で決めますが、本当にそこが安全な場所なのか、それに伴い、避難のタイミング、避難場所に行く経路というような事も十分検討する必要があります。五つ目には自治体からの避難勧告、市町村長が避難勧告を出しますが、なかなか出ない、出さない、そこには理由があります。部外者は早く出したらいいのに、と思うのですが、なかなかそうは成りません。避難勧告を出したからには、市町村がすべて責任を負わなくてはなりません。だから避難勧告は出しにくいのです。自然現象、自然の営みによって、人間に被害が生じたときにそれを自然災害と言います。人がいないところに自然の力が加わったとしても、それは災害とは言いません。人がいるから災害となります。

ですから自然災害とは、自然現象を引き金にした社会現象であります。自然の営みは、地球を構成する物質の循環によって生ずるもので、地球上の自然現象は、地球内部のエネルギー、太陽エネルギーや重力エネルギーなどによって引きおこる。地球の歴史は46億年と言われていますが、46億年にわたって、地球の内部の熱を宇宙空間に放出してきた歴史である、ともいえます。地震現象とはどういうものなのか。地球の表面は厚さ100kmぐらいの硬い岩盤が覆っています。このプレート同士がぶつかり合ったり離れたり、する事によって歪みが生じ、岩盤が耐えきれなくなって弾けてしまい、歪みが解消されます。食い違いが生じてきたものを断層と言います。断層によって地震が生じます。今後も活動する可能性がある断層を活断層と言います。活断層は日本列島に約2,000本。至る所にあるそうです。マグニチュード5以上の地震が、世界では大体、年平均1,500回ぐらい起こっています。その1割が日本で起きています。日本周辺にはプレートが四つあります。海のプレートは太平洋プレートとフィリピンプレート、陸のプレートはユーラシアプレートと北アメリカプレートとひしめき合っています。

今盛んに注目されている、南海トラフに沿って発生する巨大地震。ある研究者によると、2040年までにマグニチュード9の巨大地震が起こる可能性があると言われています。西日本に大震災が起きると予測する、物騒な話もあります。東日本大震災を教訓に地震対策の準備をして頂きたいと思います。

幹事報告

坂本雄一 幹事



- 1、国際ロータリー2570地区より
第2回 会員増強・公共イメージセミナーについての（ご案内）が届いています。
- 2、国際ロータリー2570地区より
派遣年度 2018年7月1日～2019年6月30日
ロータリー財団「海外派遣」就学生募集ポスター掲示のお願いが届いています。
- 3、ロータリーの友(12)号が届いています。
以上です。

本日の例会での表彰は米山功労者です。

12月誕生日会員

下山正男	12月4日	塙越 茂	12月9日
櫻井祐治	12月9日	梅村孝雄	12月17日
内藤康晴	12月21日	梅宮つぐよ	12月23日

12月結婚祝いの会員



江積栄一	12月2日	茂木 聰	12月4日
高橋祐介	12月10日	内野昭八郎	12月11日
高柳育行	12月15日		

出席率報告

会員数	出席免除会員数	出席義務会員数	出席会員数	出席率
73名	9名	64名	33名	64.3%

ニコニコBOX報告

「本日はクラブ協議会です。充分な御協議よろしくお願いします。」

中島高夫	坂本雄一	渋谷修身	金井福則
萩原達夫	永井保之	坂本優蔵	内野昭八郎
渋澤健司	茂木 聰	巴 高志	須永秀和
高柳育行	長谷川京子	関根 貢	岡崎正六
矢島淳一	金子 章	坂田清茂	佐藤賀則
中村 孝	八木茂幸		

佐藤賀則

「長女が10月29日に結婚しました。親としてひと安心です。4才年下のだんな様で、すでに我が家と同じく亭主関白です。」

次回プログラム発表

12月8日(木) 第2例会 18:30～
夜間例会 研修例会(テーブル討論)

クラブ協議会

- 1) 会長挨拶 中島高夫 会長
- 2) 次年度 会長ノミニー・役員・理事・会計の経過報告について 岡崎正六 パスト会長



- 3) 次年度 会長ノミニー・役員・理事・会計の人事発表 渋澤健司 会長エレクト



- 4) 中島会長より総会に参加している会員に承認を頂く 中島高夫 会長
- 5) 会長ノミニー挨拶

職業分類	五十嵐敦子 会長ノミニー
事業所	幼稚園
事業所所在地	学校法人 福島学園
役職	埼玉県本庄市小島6-5-3
自宅	本庄幼稚園 教頭
趣味	埼玉県本庄市駅南2-5-23
	映画鑑賞 音楽 読書

- 6) 閉会の挨拶

広報雑誌委員会 山田喜一・岡崎正六・小杉公良・平野 太・藤井 仁

■例会日 毎週木曜日 12:30～13:30
■事務所 埼玉グランドホテル本庄700号
〒367-0041 本庄市駅南2-2-1
TEL 0495-22-7522 FAX 0495-22-3571

■例会場 埼玉グランドホテル本庄
Eメール honjorc@themis.ocn.ne.jp
ホームページ <http://www.globals.jp/hp/HRotary/index.html>